

訃報 中村紀夫理事がご逝去されました



日本創傷治癒学会理事であり、本学会の発展に大きくご尽力いただきました中村紀夫先生が、平成13年4月7日に急逝されました。

中村先生は、本学会に長きにわたり世話人を務められ、平成11年12月には第29回研究会を主催されました。学会化にあたっては約3年がかりで、諸手続きや規約の草案作成まで、多くのご協力をいただきました。還暦を迎えられこれからという時期に、突然お亡くなりになられた先生の惜念のお気持ちは計り知れないものがありますが、先生の目指されていた日本創傷治癒学会の将来像を見据えながら、私共は会員の皆様とともに本学会を発展させ、その成果を世界に発信していきたいと考えております。会員を代表して、心よりお悔やみを申し上げます。合掌。

中村紀夫 理事

理事長 北島政樹



第29回創傷治癒研究会の当番世話人をされた時の写真。
WRR誌のEditor-In-Chief、William J. Lindblad先生を囲んで。

第11回米国創傷治癒学会年次総会（11th Annual Educational Symposium of The Wound Healing Society）に参加して

（事務局幹事 大谷吉秀）



11th Annual Educational Symposium of the Wound Healing Societyが、5月16日から18日まで、メキシコとの国境に近い米国New Mexico州Albuquerque（アルバカーキー）で開催されました。（左はプログラムの表紙）約300名の参加者は、形成外科、皮膚科、あるいは創傷治癒センターの医師、基礎研究にたずさわる人々で、日本からも日本医大第1外科の徳永 昭助教授とそのお弟子さん達をはじめ、数名が参加されました。演題の抄録はすでにお手元に届いている、Wound Repair and Regeneration 9巻2号に掲載されていますので、ここでは詳しくは述べませんが、86題の口演と53題のポスター発表があり、なごやかな雰囲気ながらも、質問はマイクの前に列ができる程活発な討論が行われました。

学会初日にはWRRのEditorial Board Meetingがあり、2001年度は雑誌の購読者数が、米国に次いで日本が多いことが報告されました。今後、日本からの投稿を期待したい、さらにその内容も基礎的な内容はもちろん、臨床的研究についても積極的に受け入れたいとのコメントがありました。また、我が国の創傷治癒研究の現状を欧米の研究者に伝えるべく、本年12月に開催される第31回日本創傷治癒学会（会長、東京女子医科大学形成外科 野崎幹弘教授）で発表される演題は、すべて英文抄録としてWRRに掲載されることになりました。



President of WHS (1999-2001)、Gregory S. Schultz教授（向かって左）と次期President、David L. Steed教授（向かって右）

次回の年次総会は、Johns Hopkins 大学外科のAdrian Barbul 教授のもとで、2002年5月29日から6月2日までMaryland州Baltimoreで開催されます。一昨年夏のボルドーの総会に引き続き、European Tissue Repair Society(ETRS)との合同開催になりますので、参加者も500人以上を予想しているとのことです。日本からも多くの発表を期待しますとの、Barbul教授からのコメントがございました。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。抄録の締め切りは12月14日です。すべて電子投稿になる予定です。ちなみに2003年はシアトルで開催されます。



WRR誌のEditor-In-Chief、William J. Lindblad先生



次期総会を担当するAdrian Barbul教授と日本から参加された徳永 昭先生（日本医大第1外科助教授）

第31回日本創傷治癒学会のご案内(第3次)

第31回日本創傷治癒学会 会長 野崎幹弘（東京女子医科大学形成外科教授）

第31回日本創傷治癒学会を下記の通り開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

1. 会 期：平成13年12月6日（木）～7日（金）
（6日に理事会、評議員会を予定しております。）
2. 会 場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 T E L：03-3344-0111
3. 内 容：
 - 1) 招待講演
 - (1) 外人講演
 - (2) 岡野光夫教授（東京女子医科大学先端生命医科学研究所）
 - 2) シンポジウム（一部指定）
 - (1) 遺伝子治療の現況を知る－創傷治癒への応用をめざして－
 - (2) 血管新生療法のupdate
 - 3) 主題演題（公募）
 - (1) Scarless Wound Healing
 - (2) Nitric Oxide
 - 4) 一般演題
4. 演題募集締切：郵送／平成13年9月1日（土）必着 e-mail／平成13年9月8日（土）必着
5. 連絡先：
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学形成外科学教室（事務局長 菊池 雄二）
T E L：03-3353-8111（ex.31424） F A X：03-3225-0940
e-mail：keisei@prs.twmu.ac.jp